

「(仮称) 青葉山エリア文化観光交流ビジョン」策定について

1 趣旨

青葉山周辺は、仙台のはじまりの地とも言えるエリアであるとともに、歴史、文化、学術、自然などの資源が集積し、仙台市基本計画においても「国際学術文化交流拠点」とされ、都市としての持続的な発展を支える重要な拠点と位置付けられている。

当エリアにおいては、青葉山公園の整備や大手門復元に向けた基礎調査、音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設の整備など、各種プロジェクトが進行しており、この好機に改めて総合的に価値を高め、市民はもとより国内外に魅力を発信することが重要である。検討懇話会の議論等を通じ、エリアの価値や魅力、回遊性の向上に向けた方向性等を示すビジョンを策定することにより、エリアにおける交流人口の一層の拡大を図る。なお、本ビジョンは、各種プロジェクトの一定の進捗が見込まれる概ね10年後を見据えたものとする。

2 ビジョン概要

(1) エリアの範囲 (別紙参照)

文化観光交流に資する各種資源(※)が存在し、文化的、地理的に連携が有効なエリアを対象とする

(※) 仙台城跡、東北大学川内キャンパス・青葉山キャンパス、東北大学植物園、次世代放射光施設、宮城県美術館、仙台市博物館、青葉山公園(仙臺緑彩館)、仙台国際センター、青葉山交流広場(音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設)、瑞鳳殿、広瀬川 等

(2) 構成案

策定の趣旨、エリアのあゆみ、各種計画等における位置付け、エリアの特性や強み、エリアの将来像、取組の方向性などを記載

3 想定スケジュール

令和4年8月	第1回検討懇話会
9月～10月	第2回検討懇話会
9月25日	市民向けシンポジウム
11月～12月	第3回検討懇話会(ビジョン中間案)
令和5年1月	パブリックコメント
2月～3月	第4回検討懇話会(ビジョン最終案)

4 備考

本市では、青葉山交流広場に整備予定の音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設の基本構想の策定を予定しており、相互に情報共有を図りながら検討を進める。